

多摩府中保健所感染症週報

令和5年第27週（7月3日～7月9日）



第27週の傾向

★新型コロナウイルス感染症は19週から定点把握対象疾患に追加されました。

報告数は増加しています。（管内の定点医療機関当たり報告数 25週6.06 26週7.30 27週7.76）

★ヘルパンギーナが警報レベル開始基準値（1定点当たり6.0人/週）を超え、大きな流行となっています。（定点医療機関当たり報告数 多摩府中11.05 東京都8.00）

★他の夏の感染症も引き続き増加傾向です。

（RSウイルス感染症：定点医療機関当たり報告数 多摩府中2.38 東京都2.70）

（手足口病：定点医療機関当たり報告数 多摩府中1.29 東京都0.79）

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）について

5類移行後は、法律に基づく外出の自粛は求められませんが、発症後5日間かつ症状軽快後24時間程度を経過するまでは外出を控えることが推奨されています。

※濃厚接触者に特定されることはなくなり、外出の自粛を求められることはありません。
同居のご家族がコロナに感染した場合は、ご自身の体調に注意してください。

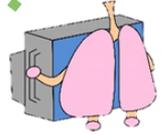
管内の集団感染の状況

施設	疾患	今週の新規発生件数
学校・教育機関	インフルエンザ	6件
児童福祉施設	COVID-19	1件
	インフルエンザ	1件
	ヘルパンギーナ	2件
	手足口病	1件
	不明熱	1件
高齢者福祉施設	-	-
障害者福祉施設	-	-
医療機関	-	-

※保健所が相談を受けて把握したものを集計しており、実際の数と相違がある可能性があります。

★注目すべき感染症★
結核～定期健診を受けましょう～

健診、ちゃんと受けてますか？



今年度の市民健診や職場健診が始まっています。

健診での胸部レントゲン検査は、結核等の肺の異常を早期発見することを目的としています。

健診で異常を指摘された際は、必ず医療機関を受診しましょう。

Point ≡

- * 1年に1回は健康診断を受ける
- * 健診で異常を指摘されたら、
原因の確認のために医療機関を受診する

結核ってどんな病気??

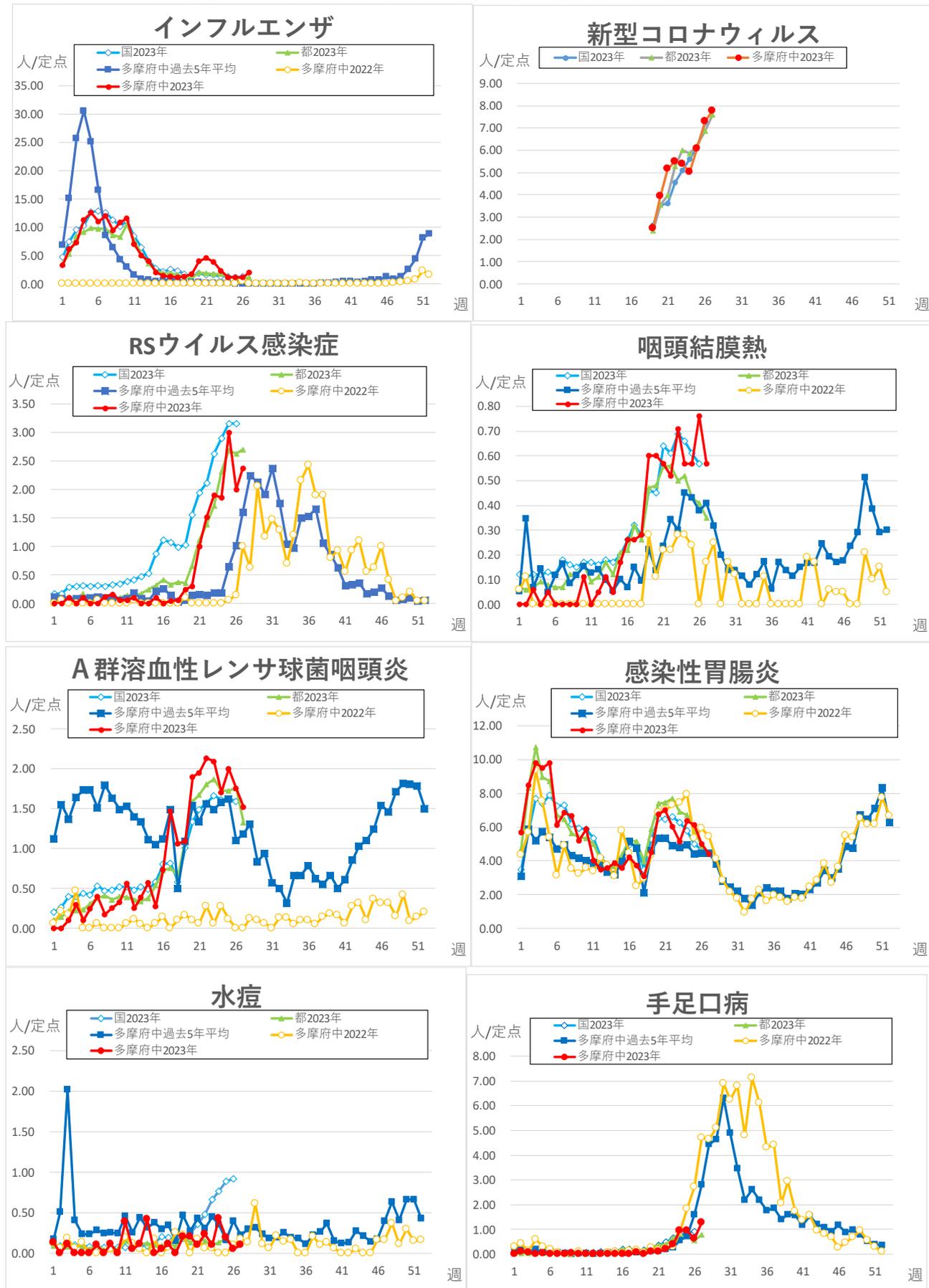
結核とは、結核菌が原因となって起こる感染症です。肺に炎症を起こすことが多い病気ですが、身体の様々な所に病巣を作る場合もあります。現在では有効な治療薬があり、定められた期間きちんと服用するとほとんどの場合は治る病気です。

発病初期は無症状のこともあります。
定期的なレントゲン検査での早期発見が重要です。

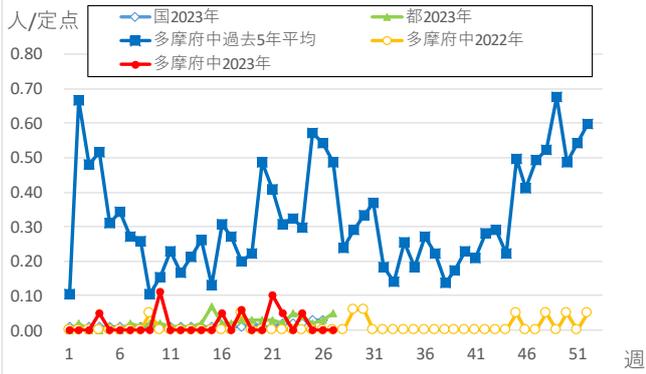
詳しくは[多摩府中保健所ホームページ](#)もご覧ください。

定点把握対象疾患・定点医療機関当たりの報告数

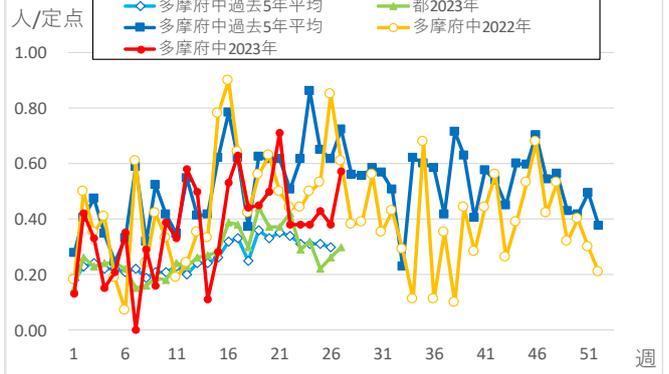
- ・週報告の定点把握対象の感染症について、定点あたりの患者報告数推移のグラフを掲載しています
- ・新型コロナウイルス感染症は 19 週から定点把握対象疾患に追加されました



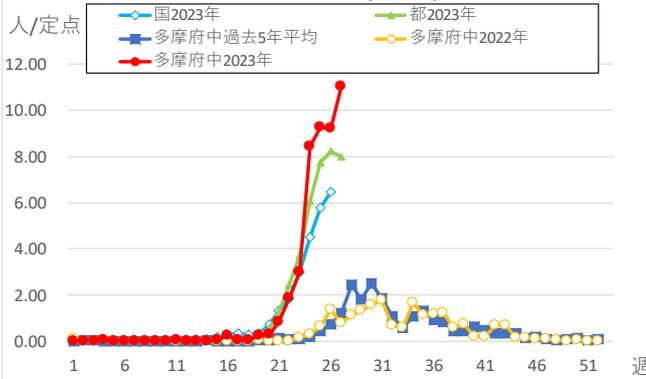
伝染性紅斑



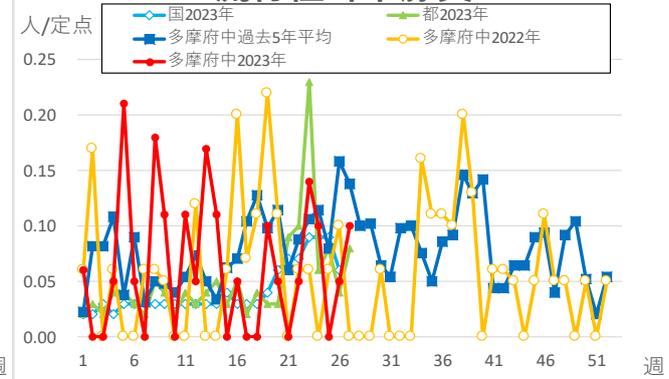
突発性発しん



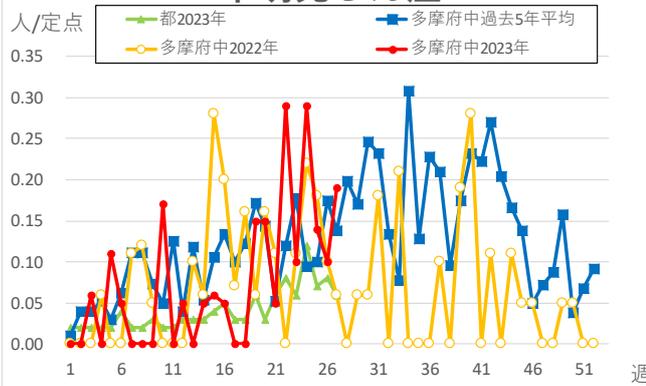
ヘルパンギーナ



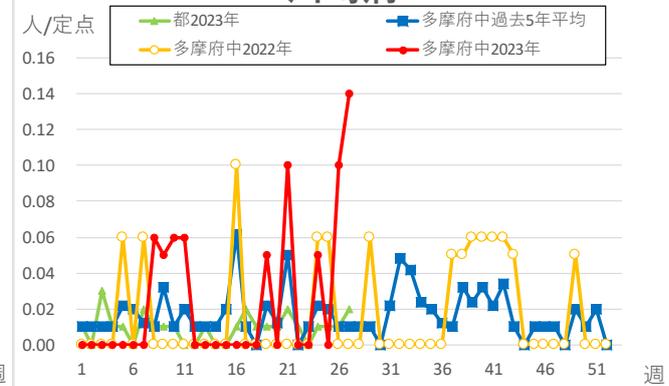
流行性耳下腺炎



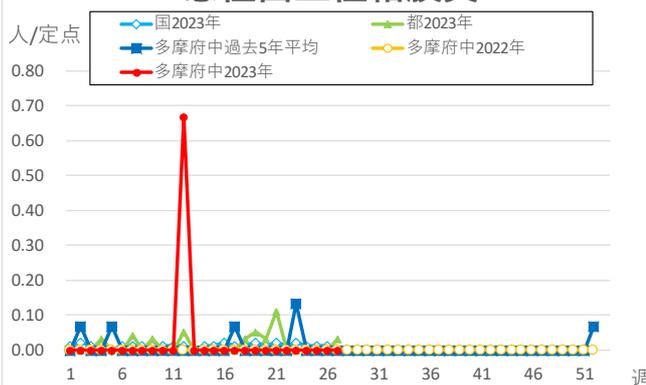
不明発しん症



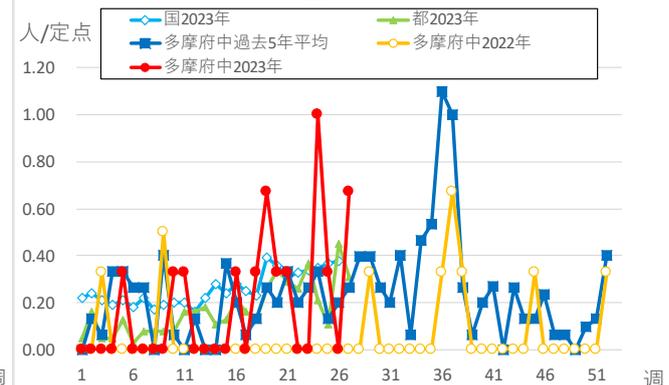
川崎病

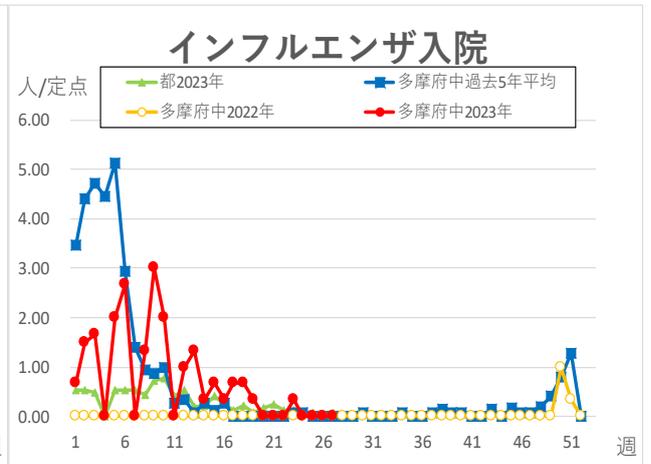
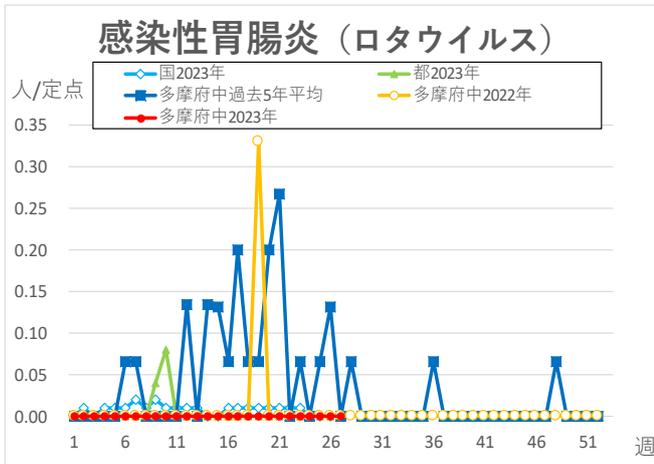
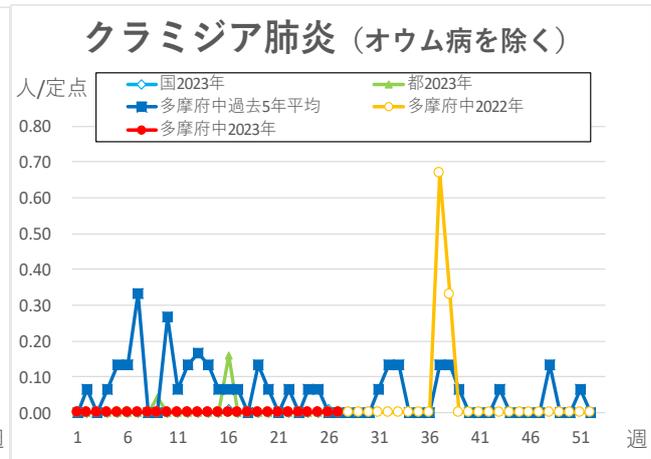
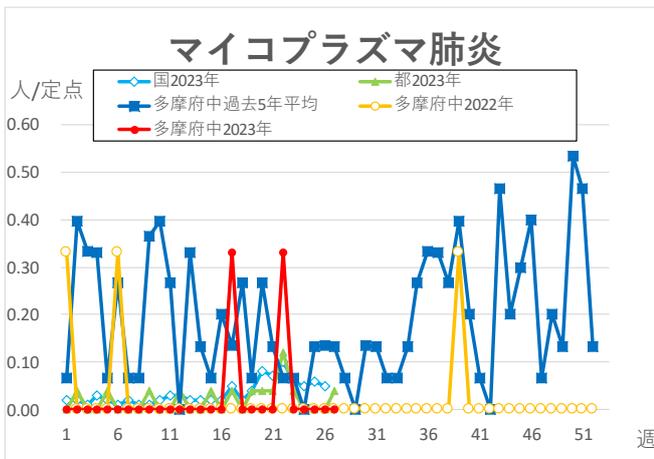
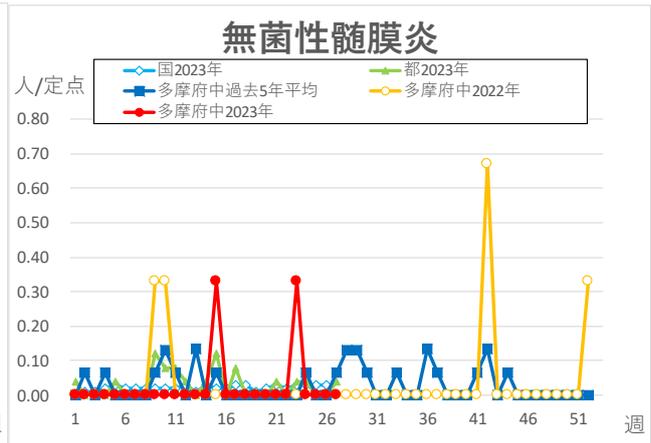
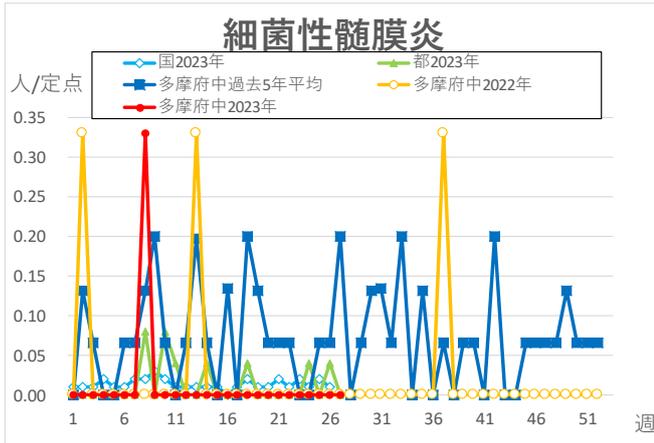


急性出血性結膜炎



流行性角結膜炎





※本グラフは感染症の発生動向の概要をお伝えするため、下の出典の最新週のデータを追加して作成しています。

過去のデータの修正は反映されておりませんので、より正確なデータについては出典元をご覧ください。

国のデータは1週間遅れで掲載しております。

<出典> 東京都、多摩府中のデータ：東京都感染症情報センター <https://idsc.tniph.metro.tokyo.lg.jp/>より WEB 感染症発生動向調査

国のデータ：国立感染症研究所 <https://www.niid.go.jp/niid/ja/idwr.html>

多摩府中保健所 保健対策課
感染症対策担当

Tel : 042 (362) 2334 (代表)

🔍 検索 多摩府中 感染症週報